

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 14 日作成)

委員会名	遮音設計水準検討WG	主 査 名：渡邊秀夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	音環境小委員会	委員長名：藤本一壽
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>集合住宅の音環境に対する入居者の関心は年々高まりをみせ、評価も厳しさを増す傾向を示している。そこで、各種遮音性能とクレームとの関係について、改めて実態を把握するために、アンケート調査を実施して、通称赤本に示されている遮音性能基準の適用等級との対応を検討するためのデータベースを構築し、アカデミックスタンダード提案の基礎資料とする。</p> <p>2003 年度：現状における問題点の洗い出しとアンケート調査内容の検討、 2004 年度：アンケート、ヒアリング調査票の作成、アンケート、ヒアリング調査実施、 調査結果のまとめ、分析、遮音設計水準検討、活動結果の報告会 (シンポジウム等の開催)</p>	
委員構成 (委員名(所属))	渡邊秀夫(音・環境研究所)、高久勝彦(鹿島建設)、羽染武則(東急建設)、大脇雅直(熊谷組)、北野康夫(YKK)、木村和則(小林理研)、田野正典(鹿島建設)、徳山久雄(徳山設計)、縄岡好人(大林組)、藤本一壽(九州大学)、村石喜一(音・環境研究所)、安岡博人(ベターリビング)、矢野博夫(千葉工大)、山下恭弘(信州大学)、米澤房雄(建材試験センター)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	76,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回：2004/5/12 (9 名)、第 2 回：2004/6/18(7 名)、第 3 回：2004/7/1(7 名) 第 4 回：2004/8/6(6 名)、第 5 回：2004/9/14(3 名)、第 6 回：2004/10/14(4 名)、第 7 回：2004/11/12(6 名)、第 8 回：2004/12/17(10 名)、第 9 回：2005/1/18(7 名)、第 10 回：2005/2/15(6 名)、第 11 回：2005/3/24 開催予定
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2003 年販売戸数上位 75 社のデベロッパーに対して、音環境に関してアンケート調査を実施。回答率 51%。音環境に関して自社基準を設定して品質管理を行っている会社 (26 社) を把握。 ・ 上記 26 社のデベロッパーに対するヒアリング調査 (設計目標値、遮音設計に対する騒音評価量、クレーム対応等) を行なうための調査票の作成 ・ ゼネコンに対してアンケート調査 (クレームとその性能値等) を行うための調査票の作成 <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>デベロッパーに対するアンケート調査とヒアリング、ゼネコンに対するアンケート調査に対して、できるだけ支障なく回答してもらうために、調査項目とその質問形式、表現等について、十分時間をかけて検討したため、計画通りには進捗せず、調査票の作成までに留まった。</p> <p>今後の活動は、次年度から発足する「集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会」に引き継ぐ予定。</p>
その他評価すべき事項	「サッシの遮音性能に与える要因と遮音設計の考え方」のシンポジウムを、当 WG が中心になって、建築業協会遮音性能研究会、日本サッシ協会ビル用サッシ遮音性能研究委員会、騒音制御工学会遮音分科会と共催で実施。参加者 126 名。